

2593人、喜びの一步

平成26年度入学式

NEWS CIT

2014
4.15

ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼

2丁目17番1号

TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

<http://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行

ニュースガイド

- 2面 生物大量絶滅を以て解明/習志野市と包括連携協定/長島さん優秀賞、矢須さんに助成金
- 3面 音響学会で院生3人受賞/保坂君が優秀講演賞/立原さんゴールドポスター賞/植草君、若手優秀研究報告賞
- 4面 平沼さんと西君、学生奨励賞/県内大学卒論発表会で3人受賞/バンドン工科大と交流協定
- 5面 上島君、優秀講演者賞/友納副所長が優秀論文賞/高校生ロケット打ち上げ/チバニー、本学公式キャラクターに
- 6面 新学生寮紹介
- 7面 ものづくり作品発表会/音響フォーラム/「観太くん」展示/「花いっぱい」に27人参加
- 8面 入学式・学長式辞/新入生インタビュー
- 9面 理事長祝辞/山崎直子さん講演
- 10面 平成25年度学位記授与式



うららかな日和に恵まれた4月1日、千葉工業大学の平成26年度入学式が幕張メッセ(千葉市美浜区) イベントホールで行われた。写真上・会場に向かう新入生たち。門出を祝うように桜が満開を迎え、新入生は喜びと緊張の第一歩を踏み出した。



幕張メッセのイベントホールを埋め尽くした新入生と父母たち

「世界を担う自覚持ち」宣誓

今年度の新入学生は工学部6学科1679人、情報科学部2学科329人、社会システム科学部3学科336人と、大学院生249人(修士課程3研究科233人、博士

念にふれ「グローバル化した現代社会において、科学技術者を輩出する本学の重要性はますます高まっている」と強調。学部生に課題発見力、論理的思考に基づく解決力、

と約束した。 瀬戸熊理事長は祝辞の冒頭、夢を持つ大切さを力説。本学の創立者・小原國芳先生が「一つでも多く夢を持ってほしい」との願いから「夢」の字を二画多く記したこ

ど科学技術の進歩が招いた負の側面を挙げ「地球を持続可能にするには新しい知性が必要。千葉工業大学は皆さんが未来を切り拓く力を付けるように全力で手助けします」

来場30万人達成

東京スカイツリータウンキャンパス

近未来技術発信する東京スカイツリータウンキャンパス(東京都墨田区押上)東京スカイツリータウン・ソラマチ8階)が、開設3年目を控えた4月7日、来場者30万人を達成した。

30万人目となったのは埼玉県三郷市から来た山崎皓生君(小学6年生)。皓生君は妹みのりちゃん



30万人目となったのは埼玉県三郷市から来た山崎皓生君(小学6年生)。皓生君は妹みのりちゃん

政博博物館見学だったが、皓生君が本学ブースを見つければ「入りたい」と希望し入館したという。記念品贈呈式では宮川博光常務から、30万人目の記念に、宇宙飛行士が使用する宇宙ペン、本学オリジナルグッズなどが入ったバッグが手渡された。写真左からみのりちゃん、皓生君。



新入生代表・今井さん 技術研究センターをほじめ、充実した教育・研究環境を説明し「多くの友と切磋琢磨して、世界をリードする研究者や科学技術者を目指してください」と励ました。大学側の激励の言葉をい」と結んだ。

とや、幕末の思想家・吉田松陰の言葉を紹介し、学生に奮起を促した。また、6550万年前の生物の大量絶滅の原因を酸性雨と海洋の酸性化であると3月に解明し、世界的な反響を呼んだ本学の惑星探査研究センターや、原発対応災害ロボットの開発で成果を上げて

高評価変わらず

本学格付け「AA- 安定的」

格付投資情報センター(R&I)は3月13日、本学の長期債務の信用格付けを「AA- (マイナスイ)」格付けの方向性は「安定的」と公表した。AA-は11年連続で「安定的」評価は4年目。東京スカイツリータウンキャンパスや、再開発を終えたキャンパスなどが受験生の関心を引き、良好と判断された。

受けて、今井雪穂さん(未来ロボティクス学科)が新入生を代表し「世界を担う一人として自覚を持ち、目標に向かって勉学に励みます」と宣誓した。今井さんは原発事故や領土問題など日本がさまざまな問題に直面するなかで、社会情勢に対応し、専門技術で活躍できる人材を目指す決意を述べた。

地域発展・教育で連携

習志野市と本学 包括協定



協定を結び握手する瀬戸熊理事長(左)と宮本市長

本学は3月24日、習志野市との間で、まじつくりに関するさまざまな分野で相互に協力し、地域

社会の発展と人材の育成を進めるための包括的な連携協定を締結した。大学の役割の一つとして「地域貢献」や「地域社会との共生」が挙げられている。習志野市に大半の施設がある本学はこれまで、災害時の地域住民の避難場所としてのキャンパス活用や帰宅困難者への食料提供など、さまざまな分野で習志野市と個別に協定を結んで事業を進めてきた。

また、市の各種委員会に本学の教員が専門家として参加したり、商店街活性化のための研究を学生が商店主たちと一緒に進めるなど、地域の活性化にも貢献してきた。今回締結された包括協定は、こうした個別事業の成果をベースとして、さらに本学と習志野市が良好な関係を築くことにより、一層幅広い分野で相互の人的・知的・物的な資源の活用を進め、地域社会の発展に役立てていくことが目的。協定では協力事項として、地域経済・産業振興▽危機管理・安全対策▽都市基盤▽環境づくり▽教育▽生涯学習など11項目が掲げられている。今後、本学は総務部総務課、習志野市は基本政策の担当課が所掌部署となって、連携協力事項を



地球外天体が海洋に衝突した瞬間の想像図(NASA作成)

白亜紀末に起きた恐竜をはじめとする生物の大量絶滅については過去、さまざま論争が繰り返されたが、1980年にノーベル物理学賞のルイス・アルバレス博士が提唱した、直径10キロもの巨大隕石の衝突による複合的な環境変動が原因という仮説が現在では定説と

なっている。実際に白亜紀末に形成された直径180キロもの衝突クレーター(チチュルプ・クレーター)付近の地



大野首席研究員

そこで、大野首席研究員らの研究チームは「硫酸の酸性雨」に着目した。ユカタン半島には硫酸を含む岩石が豊富に存在したことが分かっており、それが隕石衝突のエネルギーで蒸発し、酸性雨の原料となる硫酸酸化物質が大気中に爆発的に放出されたと考えられるからだ。研究チームは大阪大学レーザーエネルギー学研究所センターの高出力レーザーを使って、チチュルプ・クレーター付近の地

生物大量絶滅

強酸性雨が原因で

PERC 大野研究員チーム

実験で解明 世界的に反響

6550万年前の生物大量絶滅の原因は、巨大隕石の衝突で全球的に降った酸性雨と海洋酸性化が原因だった。本学惑星探査研究センター(PERC)の大野宗祐上席研究員を代表とする研究チームは、生物大量絶滅の中で最大の未解決問題だった海洋生物絶滅のメカニズムを、高出力レーザーを用いた世界初の実験で解明し、3月10日付の英科学誌ネイチャーサイエンス電子版に発表した。このニュースはNHKや主要全国紙、また海外メディアも一斉に報道し、世界的な反響を呼んだ。

91年にメキシコ・ユカタン半島で発見された。さらに2010年には世界12カ国の地質学、古生物学、地球物理学、惑星科学などの研究者41人がチームを組み、天体衝突と生物大量絶滅に関する研究の数々を統一的に検討。チチュルプ衝突によって生物大量絶滅が起きたことをあらゆる証拠が示しているという結論をまとめ、米科学誌サイエンスに発表した。松井孝典・惑星探査研究所センター所長も加わったこの研究によって、長年続けられてきた「恐竜絶滅論争」には決着がつかないまま、なお未解決だったのが「天体衝突がどのような環境変動を引き起こし、それがいか

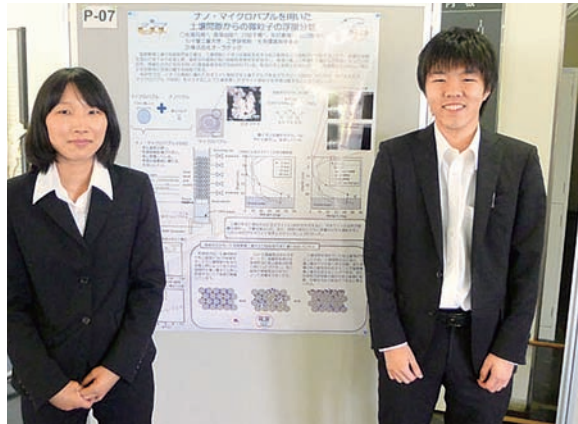
にして生物大量絶滅をもたらしたのか」という、具体的なメカニズムの解明であり、なかでも海洋生物の食物連鎖の基底となる海洋プランクトンがなぜ絶滅したか―は、これまでの仮説では説明が不可能だった。隕石衝突時の状況をレーザー実験で再現することで、大野首席研究員らの研究チームは「硫酸の酸性雨」に着目した。ユカタン半島には硫酸を含む岩石が豊富に存在したことが分かっており、それが隕石衝突のエネルギーで蒸発し、酸性雨の原料となる硫酸酸化物質が大気中に爆発的に放出されたと考えられるからだ。研究チームは大阪大学レーザーエネルギー学研究所センターの高出力レーザーを使って、チチュルプ・クレーター付近の地

微細気泡の応用技術研究で

長島さん優秀賞受賞 矢須さんには助成金



表彰状を手に喜ぶ長島さん(右から2人目)



助成採択された矢須さん(右)

地球の「土壌圏」を環境システム(物質循環)からとらえる矢須勇樹・生命環境科学科准教授の研究室内で、受賞者と研究助成採択が重なった。長島由樹さん(生命環境科学科4年)は受賞当時、日本海水学会若手会(3月5、6日、長野県)の第5回学生発表会(3月5、6日、長野県)で「オゾンマイン」の発表を行い、優秀賞を受賞した。ヨウ素が多量に含まれる海水(かん水)に、オゾンマインの微細気泡を吹き込

んは、微細気泡の有効性と、福島県で産出されるモルデナイトがセシウム吸着性能が高いことに注目、セシウムの浮遊分離計画を立て、汚染除去の方法として評価された。地圏環境工学(矢須)研究室の笹川科学研究助成の採択は4件目。

また、同研究室の矢須元規さん(生命環境科学専攻修士1年)は受賞当時「ナノ・マイクロバブルとモルデナイトの複合応用による汚染塩の浮遊分離」の研究を公益財団法人日本科学協会平成26年度笹川科学研究助成(一般科学研究部門)に申請し、採択された。100万円を限度に助成される。東日本大震災では東京電力福島第一原発事故で現在も放射能汚染土壌や貯蔵汚染水の除去の目的がたっていない。矢須さん

層と同じ硫酸塩岩に、秒速15〜20キロという宇宙速度に加速した金属粒子を衝突させる実験に世界で初めて成功。隕石衝突時の温度と圧力を再現した結果、これまで考えられていた二酸化硫黄ではなく、硫酸になりやすい三酸化硫黄が放出されることがわかった。さらに理論計算によ

また、同研究室の矢須元規さん(生命環境科学専攻修士1年)は受賞当時「ナノ・マイクロバブルとモルデナイトの複合応用による汚染塩の浮遊分離」の研究を公益財団法人日本科学協会平成26年度笹川科学研究助成(一般科学研究部門)に申請し、採択された。100万円を限度に助成される。

つたから起きた。他の場所だったら違った結果になっていたであろう」としている。3月6日に東京スカイツリータウンキャンパスの惑星探査ゾーンで行われたマスコミへの事前レクチャーには、論文の共同執筆者12人のうち松井所長、門野敏彦・産業医大教授、杉田精司・東大新領域創成科学研究科教授(PERC客員上席研究員)、重森啓介・阪大レーザーエネルギー学研究所センター准教授が出席した。

院生3人 石井さん 栗屋奨励賞 土屋さん 優秀発表賞 森さんは2賞とも

「音」に関する全国の研究者・技術者が発表を持ち寄る日本音響学会の2013年秋季研究発表会(昨年9月25〜27日、愛知県豊橋市の豊橋技術科学大学で開催)で、森淳一さん(工学専攻博士後期3年)と受賞当時・佐藤史明研究室)が第35回栗屋奨励賞と第8回学生優秀発表賞の両賞▽石井要次さん(同受賞当時・飯田一博研究室)が栗屋奨励賞と第8回学生優秀発表賞を、それぞれ受賞。3月11日、東京都千代田区の日本文学工学部(駿河台キャンパス)で行われた2014年春季研究発表会の会場で表彰された。栗屋奨励賞は栗屋音響学会元会長の遺族の寄付で創設された賞で新進の研究者・技術者に与えられる。受賞者5人のうち2人が本学から選ばれた。学生優秀発表賞は今回、優秀な発表をした学生20人に贈られた。

■森淳一さん
「屋外拡声システムの音響設計のための可聴型シミュレーションシステム」(防災行政無線)は重要な情報伝達手段だが、複数のスピーカからの音や近隣の建物からの反射音などが重なるとアナウンスが聞き取りにくい場合がある。これを改善するための音響設計では、スピーカからの音響伝搬をコンピュータ上で予測し、その音を音

の3次元情報も含めて実験室に再現する手法を用いることが望ましい。森さんは、音響伝搬計算法の中でも最も単純な幾何音響シミュレーション(虚像法)と、比較的簡便な6チャンネル収音・再生手法を併用した新たな可聴型シミュレーションシステムを考案し、システムの有効性を検討した。検討では、現場録音したアナウンスと、考案したシステムで合成したアナウンスの比較実験を行い、現場録音は長期間にわたった。森さんは「名誉ある賞を2つもいただき恐縮しています。先生や先輩、後輩たちにはお世話になりました。家族も研究しやすい環境を、と協力し

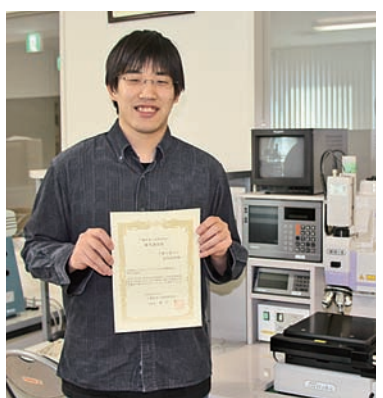


左から佐藤教授、土屋さん、森さん、石井さん、飯田教授

放電加工でレンズアレイ型を創成

保坂君が優秀講演賞

千葉県加工技術研究会主催の第16回大学等委員による研究事例発表会が3月6日、本学津田沼キャンパス6号館で開催され、保坂隆博君(機械サイエンス学科4年)が受賞。当時・瀧野日出雄研究室・写真)が「放電加工によるレンズアレイ型の精密創成に関する研究」を発表し優秀講演賞を受賞



を創成するための先進加工技術の確立を目指して研究に取り組んでいる。レンズアレイ型とは、多数のレンズ形状を等間隔に配列したプレス成形用の型。プレス成形されたレン

ズアレイは照度均一化などの機能を有することから、次世代デジタル機器の光学系に欠かせない。型は超硬合金や炭化ケイ素など高硬度材料で作成し、現状ではレンズ形状を1個ごとに超精密研削・研磨して仕上げるので時間がかかる。保坂君らは、放電加工を用いれば、導電性材料なら硬度に関係なく加工できることから、レンズ面創成の高効率化を検討。新しい放電加工電極を提案し、その基礎特性を明らかにした。

新電極でレンズアレイ型を試作し、その形状から種々のデータを得た。これまで放電加工によるレンズ面創成の例がなく、レンズに要求されるマイクロメートルオーダー以下の加工精度に影響する因子を究明するのが手探り状態だったという。学生発表15件中、保坂君は2位に選ばれた。保坂君は「瀧野教授のご指導のおかげ。受賞は私たちの研究に関心を持たれていることでもあると思います」と感想を寄せた。



立しようとして研究に着手。サンスクリン剤使用中の皮膚を実験室で模倣的に再現し、こ



め、施工材料の硬さ、施工技術、下地の状態などが、出来た防水層の品質に大きく影響する。植草君は確かな品質にするため、材料の粘度に着目。施工と施工の技術を変数として、これ以上軟らかすぎ、または硬すぎでは施工できない限界粘度を明らかにした。更に、限界粘度で施工した際の硬化後の品質を明らかにした。植草君は今春就職。学業最後の受賞について「大変光栄です。研究室の仲間、そして共に研究を行った高橋裕希君(同学科4年)と一緒に勝ち取った賞だと思っています」とコメントした。

立原さん ゴールドポスター賞

2013年材料技術研究協会討論会(昨年12月6、7日、千葉県野田市の東京理科大学野田キャンパスで開催)で立原匠さん(生命環境科学専攻修士1年)が受賞。当時・橋本和明・柴田裕史研究室・写真)が「チタニア粒子の表面特性が繊維芽細胞に与える影響」をゴールドポスター賞を受賞した。チタニア(二酸化チタン)は可視光を吸収せず(白く)、水に溶けない微粒子となるため、塗料や顔料、日焼け止めなどに広く使われてきた。一方、短波長は吸収し、紫外光で強い酸化力を発揮するので、環境汚染物質を光分解する光触媒材料としても知られる。しかし、水に溶けない微粒子・強い酸化力の性質は、人の体に悪影響を及ぼすことがあり、近年、発がん性も注目されている。日焼け止め(サンスクリーン剤)ではシリカナどで被覆し酸化力を抑えて使われるが、皮膚への詳しい影響は調べられていなかった。立原さんは、チタニア微粒子が皮膚細胞に及ぼす毒性の測定手法を確

立しようとして研究に着手。サンスクリン剤使用中の皮膚を実験室で模倣的に再現し、こ

植草君、若手優秀研究報告賞

日本建築学会関東支部の2013年度第84回研究発表会(2月20、21日、東京・神田駿河台の日大理工学部で開催)で、植草俊介君(建築都市環境学科4年)が受賞。当時・石原沙織研究室・写真)が発表した「ウレタン塗膜防水層の施工可能限界粘度と膜厚 その1」が発表された。ウレタン塗膜防水は、液状のものをコンクリートなどの下地に塗り、それが硬化して防水層になる。元が液状であるため、施工材料の硬さ、施工技術、下地の状態などが、出来た防水層の品質に大きく影響する。植草君は確かな品質にするため、材料の粘度に着目。施工と施工の技術を変数として、これ以上軟らかすぎ、または硬すぎでは施工できない限界粘度を明らかにした。更に、限界粘度で施工した際の硬化後の品質を明らかにした。植草君は今春就職。学業最後の受賞について「大変光栄です。研究室の仲間、そして共に研究を行った高橋裕希君(同学科4年)と一緒に勝ち取った賞だと思っています」とコメントした。

てくれました。選考は私が代表になりましたが、皆さんと共にもらった賞と思っています」と語った。

と、ベストマッチしたHRTFの特徴的周波数の比較を画像定位実験で繰り返した。その結果、差異はほぼ許せる程度で、この手法が有効であることを示した。

これにより、各受聴者に適合するHRTFを簡単に提供でき、音響機器や設備で、音の3次元方向制御の普及が期待されるという。

石井さんは「身に余る賞で、これからも誠実な姿勢で研究に励んでいきたい」と語った。

■石井要次さん
「受聴者の耳介形状に基づいた頭部伝達関数の個人化精度の検証」
鼓膜に届く音は、頭や耳、肩までの形などの影響で変化する。この変化を表したのが頭部伝達関数(HRTF)だ。ヘッドホンなどにより、その人のHRTFを鼓膜上で

「耳介の窪みの寸法と頭部伝達関数の第2ピークの関係」
頭部伝達関数(HRTF)で臨場感ある立体音響再生へ――土屋さんは、推定HRTFの精度を上げるため、特に耳介の窪みの寸法と特徴的周波数の関係について調べた。ヒトの耳介形状は三角窩(か)、耳甲介舟、耳甲介腔(くう)などが組み合わさる複雑だ。土屋さんは、直方体の窪みで耳介モデルを構成し、特徴的周波数を実耳と比較分析した。この結果、モデルでも実耳でも、窪みの長軸方向の寸法が特徴的周波数に大きく影響を与えることが推定され、さらに研究している。

受賞に土屋さんは「飯田教授、数値計算の協力と助言をいただいた独立行政法人情報通信研究機構の研究員の方々、全ての方に心から感謝します」と話した。

がエントリ。立原さんが特に優秀なポスターと認められた。立原さんは「学会参加は初めてで緊張しましたが、賞をいただき、とてもうれしい。これからも頑張ります」と語った。

上島君、優秀講演者賞

谷津川・高瀬川の環境評価研究



受賞した上島君

土木学会関東支部の第41回技術発表会(3月13、14日、新潟県長岡市の長岡技術科学大などで開催)河川環境部門で上島智史君(生命環境科学科4年)が受賞。村上和仁研究室が「付着

着珪藻の出現状況からみた谷津干潟流入出河川の環境評価」を発表し、優秀講演者賞を受賞した。河川の水质は、環境省の環境基準値(pH、生物化学的酸素要求量BOD、浮遊物質濃度SS、溶解酸素量DO)などだけでは採取時の値しか測れず、生息生物を観察し汚濁度を知る生物学的な評価を重ねる必要がある。夏秋の谷津川の汚濁は、水温の上昇で好汚濁性種が増え、生活排水や道路の油の流入、ゴミの投棄が加わり汚濁が進行したと考えられるとい

友納fURo.が優秀論文賞

ロボット用3D直線地図を生成



奥行きのある広い環境でステレオ画像から3D直線を復元するのは、誤差や情報欠落のため難しくかったとい

ロボット関係の国内会議である第19回ロボティクスシンポジウム(3月13、14日、神戸市の有馬グランドホテルで開催)で、未来ロボット技術研究センター(fuRo)の友納正裕副所長が「ステレオカメラを用いたエッジ点からの3D直線地図の生成」を発表し、優秀論文賞に選ばれた。

友納副所長によると、発表したのは、ステレオカメラを使ってロボット用の地図を作る技術。これまで行ってきた自律口

ポット用の3D地図を作る研究をベースに、その地図から直線構造を抽出する方法を開発した。奥行きのある広い環境でステレオ画像から3D直線を復元するのは、誤差や情報欠落のため難しくかったとい

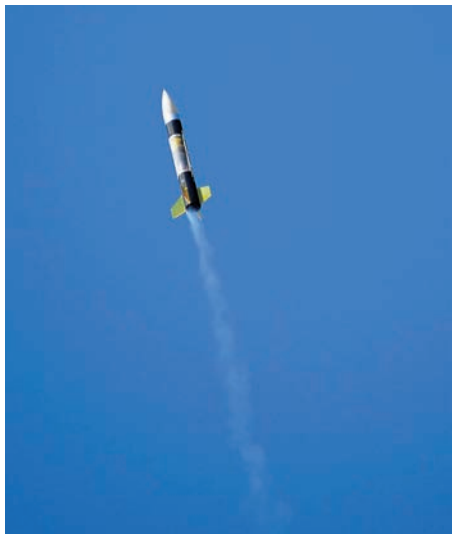
う。研究では、先に生成した3D点群を利用して3D直線をうまく復元。さらに3D直線の存在範囲を簡便に表現する方法を提案した。これにより、従来難しかった種類の3D直線を復元できるようになった。

友納副所長は「直線がもつ幾何学的性質を利用して、地図の生成効率や精度が向上する可能性を、プレゼンで訴えたのがよかったかもしれない」と受賞を喜び、「今後直線の性質を使って大規模な地図を精度よく生成する研究を進め、実際のロボットに適用できるようにしたい」と語った。

友納副所長は「直線がもつ幾何学的性質を利用して、地図の生成効率や精度が向上する可能性を、プレゼンで訴えたのがよかったかもしれない」と受賞を喜び、「今後直線の性質を使って大規模な地図を精度よく生成する研究を進め、実際のロボットに適用できるようにしたい」と語った。

高校生ロケット打ち上げ!

ロケットガール&ボーイ 養成講座が無事終了



打ち上げ台を準備



腕に抱えて最後の点検

と珪藻図鑑を何度も見比べ、眼が疲れたと苦勞を語った。発表態度と研究の努力、明確な結論など受賞が決まった。上島君は今春、社会人になり、就職先が決まるといふ。今後の活動に、上島君の活躍を期待する。上島君は「今回の経験が、今後の活動に活かせるようにしたい」と語った。

21日には地元小学生を集め、小型モデルロケット教室も開いた。親子28人が参加し、翌日に自作ロケットを打ち上げると、次々に歓声が上がった。子どもたちに夢を与えるイベントとなった。

本学公式キャラクターに昇任!



チバニー1歳

「祝」の文字が書かれた看板を手に、チバニーは1歳を迎える。チバニーは「祝」の文字が書かれた看板を手に、1歳を迎える。チバニーは「祝」の文字が書かれた看板を手に、1歳を迎える。

お得意情報などを伝えていく予定(LINE利用者は「友納」追加から「LINE」検索)で「@cit01」を検索。坂崎千春さん(千葉県市川市出身の絵本作家・イラストレーター。ダイハツCM「カクカクシカ」千葉県のマスコット「チバくん」なども坂崎さんの作品。本学の坂崎春樹名誉教授(元工業経営学)のご息女。

平成26年度 夏期英語研修生を募集

ガム大学で英語研修

- ◆期日 2014年8月3日(日)~8月30日(土)
- ◆募集人数 学生36人(申込者多数の場合は選考)
- ◆行程内容 ガム大学で英語研修・ガム文化授業
※本学の英語科目の単位に認定(予定)
ガム大学生との交流
- ◆旅行代金 約300,000円(為替及び参加人数の変動により多少の増減あり)
- ◆申込期間 2014年5月7日(水)~5月20日(火) 17:00まで

- ◆説明会 <新習志野校舎>
4月28日(月)12:20~11号館1階
5月9日(金)18:20~11号館1階
- <津田沼校舎>
4月28日(月)18:20~6号館642講義室
5月9日(金)12:20~6号館612講義室



<問い合わせ先>国際交流課(津田沼校舎1号館1階)TEL:047-478-0245
<申込書提出先>津田沼学生課・新習志野学生課

今回の参加者募集については、国際情勢、その他の事情により、日程や募集内容の変更、または中止となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

東京湾を望んで、新生活スタート

桑蓬寮、椿寮 オープン

昨年より建築が進められてきた新学生寮「桑蓬寮(男子寮)」「椿寮(女子寮)」が完成し、3月18日、瀬戸熊修理事長、小宮一仁学長ら関係者約100人が出席して竣工式が挙行された。式後に見学会が行われ、参列者が寮内の居室など、真新しい館内を見て回った。新学生寮は26年度から原則1、2年生の寮として供用を開始。3月27日、旧・千種寮の寮生が引っ越し、同29日には新入生も入寮、いよいよ新生活がスタートした。



右上方、緑色の屋上の建物が新学生寮。左は新習志野キャンパス



海側から見た新学生寮。左が桑蓬寮、右端の1棟が椿寮

**防災・セキュリティ万全
プライバシーと共用を両立**

本学は創立当時、全寮制を謳い、以後、学生寮が教育を支えてきた。千種寮が昨年、50年を経た



■寮室(女子)
デスク、クローゼット物入れや洗面化粧台を完備。調湿と消臭効果のあるラビパネルをクローゼットなどに使用。無線LANも完備されている



■スタディスペース(女子)
個人やグループでの使用など使い方の自由なスタディスペース。無線LANなどの設備も整っている



■食堂
壁一面に広がるガラスとトップライトを配したダイナミックな食堂。窓ガラスから陽が差し込み、広々とした空間は学生の憩いの場所にも



■多目的スペース
食堂に隣接した多目的スペースでは様々な用途に利用可能な設備を完備



■共同ダイニングキッチン
簡単な料理を作ったり、パーティーや食事会などの目的でも使用が可能



■浴室
男子用、女子用ともシャワー室、更衣室が併設されている



■ラウンジ(女子)
食堂から続くラウンジ。顔認証システムによりセキュリティ管理されたラウンジは南北に大きな開口部を配し明るい空間を形づくっている

桑蓬の志 中国で男子が産まれたとき、桑の木の下にもぎの矢で天地と四方の六方向を射て将来の雄飛を願った。このことから、男子が天下に雄飛しようとする志を「桑蓬の志」と言うようになった。

その名の由来から男子寮を「桑蓬寮」に、また女性寮を「椿寮」に命名した。新学生寮は、新習志野敷地内・6号館の南東側に

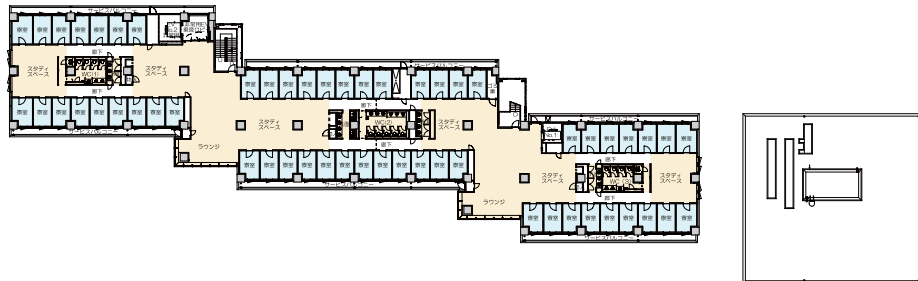
グラウンドの一面に建てられている。南側立面は海へ向け美しいスカイラインを形成、新習志野キャンパスで学ぶ学生のために津波などの防災対策としてスロープとデッキを設けた。

門扉には学生証を利用したセキュリティを、男子寮、女子寮の各入り口には顔認証システムを採用し、安全を確保している。

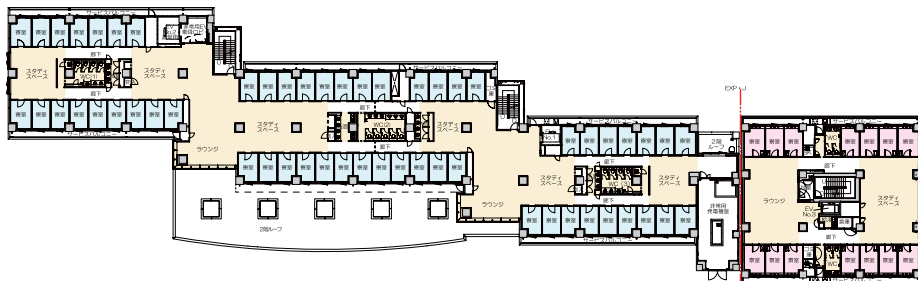
2階食堂はワイドビューが確保された。明るく開放感のある空間が、寮生の食生活を彩り、交流の場ともなる。居室はすべて個室で、必要家具が備え付けられている。一人ひとりのプライバシーに配慮しながら、寮室のあるフロアにはダイニングやスタディスペース、談話スペースなどパブリックスペースをぎっしりと配置。共同生活で互いに切磋琢磨し「個」を高めて合う「教育寮」を目指している。

■女子寮に細かな配慮
共用スペースに、簡単な調理や、パーティーを楽しめるようにキッチンスペースを設置。また、パブリックバスとともにシャワーブースも完備されている。身支度に配慮し、居室に洗面台を設置するなど、女性が住まいに望むポイントを抑え、機能が充実している。

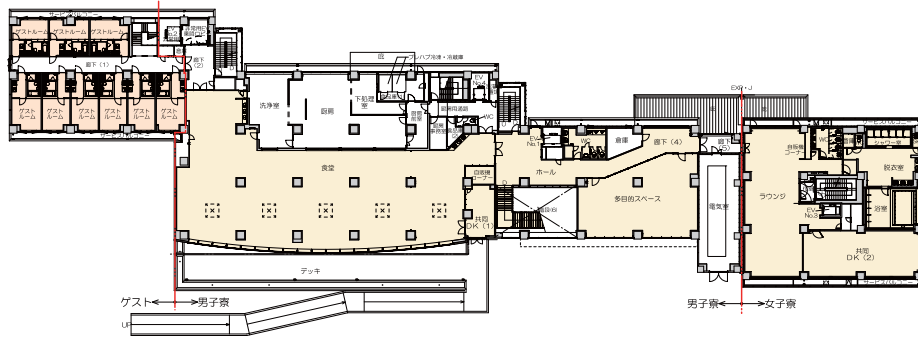
7~8階



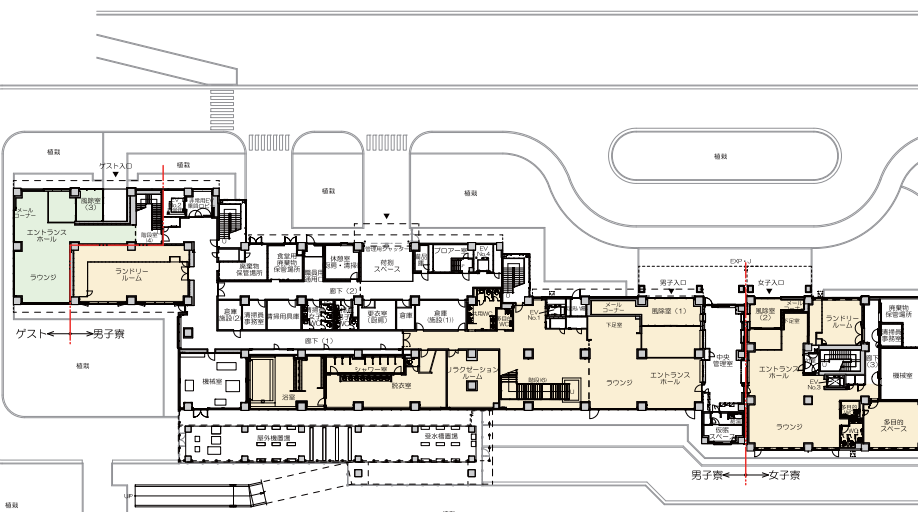
3~6階



2階



1階



1位に薬師寺東塔模型

北岡君たち 4人の力作 25年度CITものづくり作品発表会



受賞した薬師寺東塔模型と(左から)島津君、北岡君、松下君、アドバイザーの渡邊教授

平成25年度「CITものづくり」の成果を集めた作品発表会が3月6日、津田沼校舎の2号館3階大教室で開かれ、学生や教員、一般など約100人が来場して学生たちの力作を見学した。

5回目の25年度は、厳正審査を通った公募型6チーム、学生提案型36チームが1年間、制作に励んできた。発表会では、各作品のデモンストレーションと説明が行われ、その中から来場者による投票で、優秀賞に5点が選出された。

選ばれた5作品と順位は次のとおり。

1位「薬師寺東塔」▽渡邊勉(同学科教授) Webサイトの開発及び負荷分散システムの構築▽責任者・落合涼(情報工学科)、アドバイザー・菊池耕生(同学科教授)▽4位「災害時簡易伝言掲示板」▽学生向けポータル

システム(レーザープロジェクター)▽責任者・布川淳(金融・経営リスク科学科)、アドバイザー・竹本篤郎(プロジェクトマネジメント学科准教授)▽4位「HYPer竹トンボ・積層木トロボの制作」(公募型)▽アドバイザー・石塚明夫(デザイン科学科教授)(役職・学年は発表会当時)。

目標達成を願う

CITものづくりワーキンググループ代表の石塚明夫教授は、「受賞は数年間、時間をかけて制作し完成度を高めたと評価されたと思う。今回の発表会では完成に至らなかったもの、完成度を高められなかったものもありましたが、ぜひ来年は目標達成を願う」と話している。

「環境問題としての風車騒音」テーマに



第7回音響フォーラム開く

第7回CIT音響フォーラム(代表 陶良・電気電子情報工学科教授)が3月1日、津田沼校舎7号館7階のネットワーキング・メディア実験室で開かれた。写真。

音響学専攻の本学研究者が組織的に諸問題を研究し、成果を外部に発信するもの。2010年3月まで5年間は「音響情報フロンティアセンター」を組織し、研究プロジェクト「快適音環境の

創生」(文科省・学術フロンティア推進事業)を遂行。また、昨年3月まで「公共空間における安全確保のための音響情報伝達に関する研究」(科研・基盤研究A)を進めてきた。

今回のフォーラムは、環境省の戦略指定研究によって得られた成果を基に企画された。戦略指定研究は、本学がプロジェクトの代表機関を務め、日本騒音制御工学会と東京大学生産技術研究所の協力を得て研究してきた。

小宮二仁学長のあいさつ後、橋本樹(当時・本学附属総合研究所教授)が趣旨説明。その後、風車騒音の経緯・発生メカニズム・測定システムの開発・実態・評価の流れに沿って、本学情報科学科の矢野博夫教授、橋本樹教授(附属総合研究所)らが講演した。また、環境省の水・大気環境局・大気生活環境室の桑原厚氏らの招待講演も行われ、終始、活発な討論が展開された。

「観太くん」展示

初の「鯨観測」本学衛星

伊那市で人工衛星博



「観太くん」は鯨の生態観測実験を目的に、林友直・元電気電子情報工学科教授の率いる本学グループが開発した小型衛星「重力傾姿勢安定化システム」や4000もの異なる情報を識別可能な性能に、各方面から注目を浴びた。

展示には生みの親・林元教授も駆けつけ、来場者や同館職員に当時のエピソードを披露した。

同博覧会は信州発の超小型人工衛星「Shindaisat(愛称ぎんれい)」が28日打ち上げられるのに合わせて開かれ、日本製衛星10基の模型などが展示された。

下、松下和樹君、島津貴之君(以上、建築都市環境学科4年)、赤池拓海君(機械サイエンス学科1年)の4人。トップに選ばれ「さまざまな人々の協力の下に一つの作品を完成させることが出来、うれしく思います。アドバイザーの先生、CITものづくりに関わっている方々に感謝します」とお礼の言葉を述べた。

衛星設計コンテストの設計部門で受賞し、2002(平成14)年に宇宙開発事業団(NASDA)のロケットH-2Aに相乗りして打ち上げられた。見事軌道に乗り、極軌道を約5年間、周囲3度のマストを伸ばし衛星の姿勢を安定させる「重力傾姿勢安定化システム」や4000もの異なる情報を識別可能な性能に、各方面から注目を浴びた。

展示には生みの親・林元教授も駆けつけ、来場者や同館職員に当時のエピソードを披露した。

同博覧会は信州発の超小型人工衛星「Shindaisat(愛称ぎんれい)」が28日打ち上げられるのに合わせて開かれ、日本製衛星10基の模型などが展示された。

「花いっぱい」に27人参加

大震災復興支援、金融科学生たち



東日本大震災復興支援「第3回花いっぱいIN習志野台」(ととも)が、3月9日(日)、船橋市習志野台の北習志野近隣公園で開催され、27人が参加した。

肌寒い中、防寒着にジーンズ姿などで集まった学生たちは、椅子やベンチを設置し、イベント準備や催し運営を助けた。

会場には被災地宮城・福島県や、九十九里浜北端に位置し被害に遭った旭市の海産物、花の苗販売所、近隣商店の模擬店、寄付品バザーが並び、地域の人々が訪れる

た。本学は金融・経営リスク科学科を中心に学生25人と教員2人が集まり「津田沼ボランティアの会」(代表者 森雅俊・同科教授)として参加した。写真。

肌寒い中、防寒着にジーンズ姿などで集まった学生たちは、椅子やベンチを設置し、イベント準備や催し運営を助けた。

会場には被災地宮城・福島県や、九十九里浜北端に位置し被害に遭った旭市の海産物、花の苗販売所、近隣商店の模擬店、寄付品バザーが並び、地域の人々が訪れる

中、地元小中高の吹奏楽演奏やゴスペルコンサート、キッズダンスなどが行われた。船橋東警察署や船橋東消防署、陸上自衛隊習志野駐屯地も参加して支援を訴え、この日、義援金60万円が集まった。

実行委から「千葉工大

生の活躍で大変、助かりました」と感謝の言葉が寄せられ、参加学生たちは「ありがたい」といわれ、力になったと、うれしさを感じました。ボランティアを率いた森教授は「社会貢献でき、教育面でも良かったと感じています」と語った。

科学博物館、無料で

大学パートナーシップ継続

本学は「国立科学博物館大学パートナーシップ」に今年度も入会し、この結果、本学学生は国立科学博物館(東京・上野公園)写真が国立科学博物館提供)のほか、同館付属自然教育園(東京都港区)、筑波実験植物園(茨城県つくば市)に、学生証を提示するだけで常設展(通常620円)を無料で、特別展(通常1500円)も平成25年度を620円引きで利用できる。

今年度は特別展として、江戸の「医」から未来を眺める展覧会「医は仁術」(上野)、企画展として「石の世界と宮沢賢治」(上野)、「さくらさう展」(つくば)、「日本固有の植物展」(同)、ミニ企画展などとして「第36回未来の科学の夢絵画展」(上野)などを開催予定。

※詳細は国立科学博物館ホームページ「大学パートナーシップ」参照。



本学は「国立科学博物館大学パートナーシップ」に今年度も入会し、この結果、本学学生は国立科学博物館(東京・上野公園)写真が国立科学博物館提供)のほか、同館付属自然教育園(東京都港区)、筑波実験植物園(茨城県つくば市)に、学生証を提示するだけで常設展(通常620円)を無料で、特別展(通常1500円)も平成25年度を620円引きで利用できる。

今年度は特別展として、江戸の「医」から未来を眺める展覧会「医は仁術」(上野)、企画展として「石の世界と宮沢賢治」(上野)、「さくらさう展」(つくば)、「日本固有の植物展」(同)、ミニ企画展などとして「第36回未来の科学の夢絵画展」(上野)などを開催予定。

※詳細は国立科学博物館ホームページ「大学パートナーシップ」参照。

ケータイの登録はお済みですか?

登録すると、緊急時に携帯へお知らせメールが届きます!

本学では、安否確認システムを運用しています。緊急事態が生じた場合に大学から安否確認が行われます。また、新型インフルエンザの流行、台風の接近などによる全学休講の際には、携帯に緊急連絡メールが届きます。

下のQRコードを読み取り、空メールを送信してください。

(または <http://cit119.jp/> にアクセス)

小宮一仁学長 式辞



新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。今年度千葉工業大学は、創立以来最多の4万3964人の志願者を集めました。平均競争倍率約4倍という大変な難関を突破し、晴れて千葉工業大学の一員になられ、今日の入学式を迎えられた感慨はひとしおだと思います。また御列席の御父母、御家族、御友人の皆様に対し、心からお祝い申し上げます。桜満開のこのよき日に、才氣あふれ前途洋々たる皆さんをお迎え出来たことは、千葉工業大学にとりましてとても大きな慶びであります。

大学、慶應義塾大学、そして本学、千葉工業大学の3校だけでした。昭和17年6月8日、航空工学科・冶金学科・機械学科の3学科に160名の第一期生が入学して以来、時と共に着実に成長を続け、現在では、3学部11学科及び3研究科修士課程8専攻・博士後期課程3専攻に在学数約1万人を有する、我が国は勿論、世界的に見ても非常に大きな規模の大学になっています。

本学の建学の精神「世界文化に技術で貢献する」と、教育目標の「広く世界に知識を求め、好学力を育む人材の育成」は、70年以上前に書かれた本学の設立趣意書に基づいて定められています。これらには、共に「世界」という語が使われています。実は、千葉工業大学は世界を指して創立され、常に世界を意識して発展してきた大学です。

昭和初期、日本の工業技術力は、欧米先進国の後を追い、日本の工業の皆さんがいらっしゃると思いますが、いつまでも「世界に通用する社会人になる」ということを意識してこれからの大学生活を送って頂きたいと思っております。特に、専門性を高め、専門性を極めるために集まった大学院生、皆さんは、まさに英知の集団と言えま

平成26年度 入学式

さ、今日、皆さんは文明が繁栄を謳歌している時代を生きています。現代社会のような、資本主義文明が繁栄する時代が到来した一番の要因は、科学技術の進歩に外なりません。我々人類は、極めて短期間に科学技術を開発し、それを社会に活用してきています。現代社会では日常生活や社会の隅々に科学技術が浸透しており、我々は好むと好まざるに関わらず科学技術からの恩恵を受けています。近年では、最先端の科学技術によって大量の情報や人や物を通じてお金が世界中をダイナミックに移動し、もはや国境を取り除かれた全地球的な社会、すなわちグローバル社会が到来しています。

科学技術の進歩が人類に恩恵や利便性を与えているのは確かですが、負の問題を生んでいることも事実です。例えば、我々が直ちに解決しなければならぬ深刻な問題にエネルギーと環境の問題があります。科学技術の進歩は加速度的で、我々は地球の有限な資源を急速に消費しています。地球は約46億年前に誕生したと考えられています。人類が工場機械工業の導入による産業の変革と、それに伴う社会構造の変革すなわち産業革命を開始したのは僅か2500年前に過ぎません。地球の歴史の長さを一年に例えると、産業革命以降、時間は1・7秒しか経っていないことになり

ます。我々はこの極めて短い期間に有限な化石燃料を大量に消費し、環境破壊や地球温暖化等の問題をつくり出しました。さらに、感染症、食糧、格差問題などの全地球的な課題が顕在化しています。これからは、資源の再利用や省エネルギー、新エネルギー技術の開発を進め、地球を持続可能にするために人類が協調・連携して取り組まなければならないと思います。私達も前のことです。私は、本間先生のこの言葉に、我々がグローバル社会を正しく生き抜くための、そして我々が直面している多くの課題を解決する多くのヒントがあるように思います。是非、皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。

本日は、千葉工業大学に入学された皆さんが、充実した大学生活を送られることを願っています。是非これからの学生生活において、自己の可能性を最大限に引き出し、新しい課題に果敢にチャレンジされることを心から期待して私の式辞と致します。

千葉工業大学の卒業生、即ち皆さんの先輩に、本間一仁先生がいら

科学技術の将来、一緒に考えたい

球は約46億年前に誕生したと考えられています。人類が工場機械工業の導入による産業の変革と、それに伴う社会構造の変革すなわち産業革命を開始したのは僅か2500年前に過ぎません。地球の歴史の長さを一年に例えると、産業革命以降、時間は1・7秒しか経っていないことになり

ます。我々はこの極めて短い期間に有限な化石燃料を大量に消費し、環境破壊や地球温暖化等の問題をつくり出しました。さらに、感染症、食糧、格差問題などの全地球的な課題が顕在化しています。これからは、資源の再利用や省エネルギー、新エネルギー技術の開発を進め、地球を持続可能にするために人類が協調・連携して取り組まなければならないと思います。私達も前のことです。私は、本間先生のこの言葉に、我々がグローバル社会を正しく生き抜くための、そして我々が直面している多くの課題を解決する多くのヒントがあるように思います。是非、皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。

本日は、千葉工業大学に入学された皆さんが、充実した大学生活を送られることを願っています。是非これからの学生生活において、自己の可能性を最大限に引き出し、新しい課題に果敢にチャレンジされることを心から期待して私の式辞と致します。

千葉工業大学の卒業生、即ち皆さんの先輩に、本間一仁先生がいら

ロボットを作るのが夢



ガンダムから現場で働く工業ロボットまで、とにかくあこがれます。自分でロボットを作るのが夢。福島第一原発で作業する千葉工大のロボットは現場に投入当初から注目していました。いろいろなことを学び大学院にも、と思っております。

建築の分野で公務員に



公共のために尽くす消防士の父を尊敬しています。僕は絵を描くのが好きで建物の耐震性などに関心があるので、二級建築士の資格を取り、建築の分野で公務員になりたい。勉強だけでなく、何かサークルに入って活動するつもりです。

身近なデザインに関心



小学校から野球を続け、ずっと短髪。五厘刈りだったこともあります。だからヘアスタイルにはちょっとこだわりがあるし、身近にある物のデザインに目が行くようになりました。10年後、信頼される人間になりたいように頑張ります。

介護のロボットに興味



新しくできた寮に入寮できなくて残念。自炊生活になり、母のキーマカレーを教わってきました。津田沼は富山よりちょっと都会ですが、気後れせずすみそうです。人を介護するロボットに興味があり、授業を楽しみにしています。

独自アプリを作りたい



高校の文化祭で「進撃の巨人」をもじったクラスのPR動画を作ったら好評でした。独学ですがITが大好き。スマホは持ってないけどアプリを作りたいので、貸与されるiPadが楽しみです。誰にもできないことをしたいと思っています。

障がい児助ける仕事を



家族でずっと野球が好きで、高校時代は野球部のマネージャーでした。部員23人の面倒をみるうちに人見知り少しく直ったかな。今度は自分がプレーするのがいいですね。勉強して、障がいのある子どもを助けられる仕事がしたいです。

新入生インタビュー

機械サイエンス学科

建築都市環境学科

デザイン科学科

未来ロボティクス学科

情報ネットワーク学科

金融経営リスク科学科

平成26年4月1日
千葉工業大学
学長 小宮 一仁

瀬戸熊修理事長 祝辞



塾大理工学部の前身為藤原工業大学の2校ではなく、本学は日本で3番目の工業大学として誕生しました。つまり現存する私立の工業大学としては、本学は日本で一番古い歴史をもっています。

皆さん、入学おめでとう。諸君をこの千葉工業大学に迎えられたことを、教職員として在学生とともに心から喜んでいきます。併せてご列席の父母・ご家族の皆様にお祝いとお慶びを申し上げます。

さて、明日から皆さんの勉学の場となる新習志野校舎の図書館には、漢字の「夢」という字が書かれた五層四方のタペストリーが掛っています。本学の前身である興亜工業大学の創立に尽力された小原芳先生が書かれたものですが、よく見ると、片仮名の「タ」のような「タ」という部分が一画多いんです。ちょっと自分の手の平に「夢」という漢字を書いてみて下さい。そして「タ」の部分の中の棒を一本ではなく二本書くと、これが小原先生の「夢」の字です。そこには「他の人より一つでも多くの夢を持ってほしい」という小原先生の若者にかけた願いが込められております。

「夢」と言えば、私は幕末の思想家の吉田松陰

が遺したこの言葉を座右の銘にしています。夢無き者に計画なし理想無き者に成功なし実行無き者に成功なし故に夢無き者に成功なし

これから2年間、皆さんは新習志野校舎で勉学やスポーツに励み、3年生になると津田沼校舎に移ります。その津田沼校舎には高さ百近い1号館と2号館がそびえ、近代的な建物が立ち並んでいます。新習志野校舎のハイテク感あふれる12号館をはじめ、これらの美しく整備されたキャンパスは2006年から5年がかりで、教育・研究の質的向上に向けて本学の総力を挙げて再開発したものです。この春に千葉市千種町で50年の歴史を刻み、数多くの技術・研究者を社会に輩出した千種学生寮が閉じ、新たに、新習志野校舎に隣接した学生寮が完成しました。男子寮は桑蓬、女子寮は橋の名称で、スタートします。

建学の精神を体し大きな夢を持って

本学は、創立当初より学生寮は、人間力を高めるための教育寮として位置づけ、教育・支援を行ってきました。

学生寮では、授業や課外活動では得られない経験をすると考えます。寝食を共にする学生寮の自治活動の中では、さまざまな問題や衝突が生まれ

ます。それを回避するのではなく、積極的に向かい合い解決することにより、自立性や複眼的思考が養われ、社会の要請に応えられる人材に成長することを期待しています。

皆さんの中にはこの3月10日の新聞やテレビで、65

50万年前に起きた恐竜など生物の大量絶滅の原因を、千葉工業大学の惑星探査研究チームが中心となって解明し、イギリスの科学誌ネイチャー

・ジオサイエンスに発表し、マスコミに報道されて世界的な反響を呼んでいるニュースを、ご覧になった人も多いかと思えます。

世界が驚くこの研究を発表したのは、アストロバイオロジーという最新の学問の世界的な権威である松井孝典先生が所長を務めている本学の惑星探査研究センターの研究員です。惑星探査研究センターは、火星や、宇

宙飛行士 山崎直子さんが講演

入學式後に各学科で行われたガイダンス

入學式会場の幕張メッセ・イベントホールで式後、宇宙飛行士の山崎直子さんが講師として登場し写真、サプライズな展開に新入生や父母から歓声が上がった。

山崎さんは千葉県松戸市出身で、「ロケットガール&ボーイ養成講座」のロケット打ち上げ(3月・伊豆大島)5面参照)に参加するなど本学と縁が深い。「宇宙・人・夢をつなぐ」と題し、自身の歩みを重ねながら変化に応じて成長する大切さを語った。

山崎さん 絵柄のない真っ白なシグソープズルに取り組んだり、鏡に映る図形を手元でなぞるといった宇宙飛行士試験の問題を紹介。「新しいタスクに出合った時は誰でも驚き、緊張する。完成できなくても、自分の知識をフルに活用し工

けるのは、もう間近となりました。皆さんは東京スカイツリーにある本学のタウンキャンパスにも行ったでしょうか。スカイツリーにキャンパスを持つ大

学は千葉工業大学だけです。このスカイツリータウンキャンパスに2012年5月にオープンした

ロケットゾーンに続いて、この2月22日に惑星探査ゾーンを開設しました。これまでの入場者は

29万人を超えており、千葉工業大学の名をさらに高めています。

このように千葉工業大学は充実した教育・研究環境のもと、他の追随を許さない研究成果をあげていますが、皆さんがこれから受ける授業を中心とする教育内容にも、きめ細やかな対応をするための改革を進めてきています。どうか皆さんは「世界文化に技術で貢献する」という建学の精神を

が利く。社会に出て使うのはほんの少しかもしれないが、大学で学んだことは土台となって生きてくる。大学生活の中でぜひ、自分の軸足をどこに置くか見定めてほしい。

山崎さんは笑顔絶やさず、朗らか。日頃の常識が常識でなくなる例として、宇宙船内で寝袋を立てて眠る写真を紹介し「4畳半ほどのコックピットで7人が雑魚寝する。無重力空間では面が全部使えるので、意外にゆとりがあります」とユーモラスに語る場面も。工学者(東大大学院・航空宇宙工学専攻)の先輩として「今後システムはより大きく複雑になるが、それを長年にわたってどう運用していくか、総合的に考える視点が欠かせない」と提起し、「未知のことを恐れず、自分の可能性を広げてください」とエールを送った。



寮生らによる校歌斉唱=入学式で



入学式後に各学科で行われたガイダンス

宙での生命の存在や進化に関わる問題を解明しようという壮大な研究を進めているほか、日本やアメリカの宇宙開発にも深く関係しております。もう一つ、本学には未来ロボット技術研究セン

宇宙飛行士 山崎直子さんが講演



入學式会場の幕張メッセ・イベントホールで式後、宇宙飛行士の山崎直子さんが講師として登場し写真、サプライズな展開に新入生や父母から歓声が上がった。

山崎さんは千葉県松戸市出身で、「ロケットガール&ボーイ養成講座」のロケット打ち上げ(3月・伊豆大島)5面参照)に参加するなど本学と縁が深い。「宇宙・人・夢をつなぐ」と題し、自身の歩みを重ねながら変化に応じて成長する大切さを語った。

山崎さん 絵柄のない真っ白なシグソープズルに取り組んだり、鏡に映る図形を手元でなぞるといった宇宙飛行士試験の問題を紹介。「新しいタスクに出合った時は誰でも驚き、緊張する。完成できなくても、自分の知識をフルに活用し工

けるのは、もう間近となりました。皆さんは東京スカイツリーにある本学のタウンキャンパスにも行ったでしょうか。スカイツリーにキャンパスを持つ大

学は千葉工業大学だけです。このスカイツリータウンキャンパスに2012年5月にオープンした

ロケットゾーンに続いて、この2月22日に惑星探査ゾーンを開設しました。これまでの入場者は

「変化にこたえ成長する大切さ」

い。変化に対応し、成長の通りにいくことのほうが少ない。諦めずに挑戦することが必要で、壁に当たった時に真価が問われます」

2回目の受験で宇宙飛行士試験に合格。搭乗するスペースシャトル・デイスカバリーの打ち上げまで訓練期間は1年に及ぶ

訓練の9割は非常時の備えだったと振り返り「備えは普段は使われない」とエールを送った。

航空宇宙工学専攻)の先輩として「今後システムはより大きく複雑になるが、それを長年にわたってどう運用していくか、総合的に考える視点が欠かせない」と提起し、「未知のことを恐れず、自分の可能性を広げてください」とエールを送った。

平成25年度 学生表彰者

種類	氏名	学科
学長賞	岩淵 大樹	電情
	大津 舞菜	生環
優秀賞	大貫 巧真	機サ
	小野 隼汰	建都
	荒井 康介	デザ
	松本 尚子	ロボ
	鈴木 宏明	情報
	篠田 幸宏	情ネ
	木村 吉宏	経情
	友水 翔太	PM
	富林ありさ	金融
	同窓会会長賞	西野 雄紀
小林 卓也		電情
岡部 宏紀		生環
三浦 颯太		建都
東峰 智史		デザ
里瀬 佑		ロボ
西 悠介		情報
井郷 貴史		情ネ
遠藤 咲希		経情
高橋 孝治		PM
PPA会長賞	森田 洋介	金融
	濱田健太郎	ロボ

千葉県私立大学短期大学協会の依頼による「平成25年度私立大学短期大学協会会長賞」

優秀賞候補者より選考 篠田 幸宏 情ネ

2038人晴れて卒業

平成25年度 学位記授与式



学生表彰の受賞者たち。瀬戸熊修理事長（前列中央左）、小宮一仁学長（同右）とともに



同窓会会長賞の受賞者たち。前列中央左が坂本洋同窓会会長

充実の学生生活 26人を表彰

平成25年度学位記授与式が3月22日（土）、幕張メッセ・イベントホールで行われた。

晴れの門出を迎えたのは学士1820人、修士213人、博士5人の計2038人。

午後2時から、小宮一仁学長によって3学部11

学科卒業生の代表・機械サイエンス学科総代の藤巻果織さん、大学院3研究科8専攻博士前期課程・修士課程修了生代表のマネジメント工学専攻博士前期課程総代・江森裕亮さん、博士課程修了生5人に学位記が授与された。

例年どおり学生表彰も行われ、学業人格に優れた大学に貢献した卒業生26人が栄誉を称えられた。

今年度も理事長賞の該当者はなく、学長賞に岩淵大樹君（電気電子情報工学科）、大津舞菜さん（生命環境科学科）の2人が選ばれた。今年度はこのほか、「平成25年度私立大学短期大学協会

長賞」を優秀賞受賞者から選考し、篠田幸宏（情報ネットワーク学科）が選ばれ表彰された。

このあと、小宮学長から式辞、瀬戸熊修理事長から励ましを込めた祝辞が贈られた。在学生代表の林真樹さん（情報ネットワーク学科3年）が送る辞を、卒業生代表の川浪霧華さん（建築都市環境

学科）が答辞を述べた。

川浪さんは大学生活を激動の4年間だったと振り返り、それでも恵まれた環境で過ごせたことや、かけがえのない友人たちと夢に向かって努力し続けてきた思いを、涙ながらに述べ、会場にひときわ温かい拍手がわいた。



先輩を手荒く(?) 胴上げ



振袖姿をカメラに



卒業アルバムを広げ 懐かしむ卒業生たち



学長賞

岩淵 大樹君

とにかへびくくりしました。学業に限らず、いろいろなことを学び、毎日コツコツとやってきた結果が評価されたのだと素直に喜んでいきます。大学院に行っても、この賞に恥じないよう日々努力したいと思います。



学長賞

大津 舞菜さん

先生、先輩に恵まれ、研究室で好きなことが出来る4年間でした。研究生活が有意義に送れたのにも、環境に恵まれたおかげと感謝しています。これから自分の姿勢を崩さず、研究に励んでいきたいと思っています。

編集だより



毎年のことであるが、入学式が近付くと雨や風に敏感になる。当日、満開の「桜」で新生活やご父母のみなさんを迎えられたらと、単純な思いからである。

当日はまだ堅いつぼみが多く、満開とまではいかなかったものの、うっ

すらピンク色のつぼみは緊張のなかスタートする新生活のようにも見え、この先、新習志野キャンパスを彩る希望を感じられた。

桜といえば、新習志野キャンパスに隣接するソメイヨシノ約500本を誇る桜一色の公園「さくら広場」を存じだろうか？ 今年こそは花見を！と思っていたものの、時期をすっかり逃してしまっ。風はまだ冷

たいものの、これからの時期は外で過ごすにはちょうどいい。花見にこだわらず、心地よい木陰ができる木の下で、安らぎや、みずみずしさ、心地よい風を感じてみよう！

新しい出会いや、出来事は一歩踏み出すことで生まれるはず。これからの4年間、恐れることなく笑顔でキャンパスライフを駆け抜けてほしい。

入試広報課 大橋 慶子

先輩たちを見送ろうと多くの後輩が集まり、胴上げや乾杯をして卒業生を祝福した。卒業生たちは卒業アルバムを広げ、キ

ヤンパスの日々を懐かしんだり、恩師を囲んで記念撮影するなど、思い思いに別れを惜しんだ。

式後、イベントホール前には、

春の訪れを何で感じるかは人それぞれですが、4月1日は様々な事柄のスタートであり特別な日であることには違いないと思います。私は入学式で緊張の面持ちの新入生を遠目で見ると、今年もこの時期がやってきたことを改めて実感します。幕張メッセから新習志

野キャンパスに移動する折、さくら広場の前を通りました。505本あるというその桜が織りなす光景は見事ですが、一本一本の木を観ると、まだまだ華奢な印象を受けました。これから年を重ねるごとに、その幹や枝を成長させ、一本の木も更に見事なものになっていくでしょう。

道を挟んで広場の向かい側には、学生寮（桑達寮、椿寮）を見上げることもできます。真新しい

彼彼女らの成長も、桜と重ねながら楽しみにしていきたいと思えます。

デザイン科学科 中本 和宏

四季雑感



学生寮は、居住設備もちらん、防災対策やセキュリティも万全のこと。寮生達はこれからの生活に、不安なく望めることと思います。

今年新生活をスタートさせたばかりの寮生も、数年後のこの時期には一人ひとりに社会に羽ばたいて行きます。

共演したり、各地のイベントへの参加と活動しています。

結成当時「太鼓無し」「練習場所無し」の無い無い無し。「発表する場も無い」中、如何にモチベーションを維持するか苦慮していました。地元九十九里町は元日の初日の出は大賑わいです。そこに太鼓を持ち出して演奏したのですが、寒くてお客さまばらばらでした。

翌年は工夫をして、暖を取りながら名物イワシの

図書館事務室 小倉 幸子